

第5回全国ユース環境活動発表大会 開催要領

1. 目的

我が国は、人類がこれまで経験したことのない成熟社会へのパラダイムシフトを迎えようとしている。本格的な少子高齢化・人口減少社会を迎えるとともに、地方から都市への若年層を中心とした流入が続き、地方の若年人口・生産年齢人口の減少が止まらず、人口の地域的な偏在化が急速に進んでいるのが現状である。

これは、環境へも大きく影を落とす結果となっており、農林業の担い手の減少により耕作放棄された農地、人の手が入らず荒廃した里山などが急増し、生物多様性の低下や生態系サービスの劣化にもつながっている。環境・社会・経済のそれぞれの課題は、複雑多岐に連関しており、環境課題の解決は他の社会課題との統合的な同時解決が不可欠といえる。一方で、2050年代の社会を創るであろう、いわゆるミレニアル世代、それに続くZ世代といわれる高校生等のユースたちが、全国各地で、社会課題解決のためにハツラツと取り組んでいる活動が日々展開されている。こうした、未来を創る、未来世代の活動をしっかりとサポートし、もって、持続可能な地域循環共生社会を実現することを目的とする。

2. 実施主体

主催：全国ユース環境活動発表大会実行委員会

(環境省／独立行政法人環境再生保全機構／国連大学サステイナビリティ高等研究所)

事務局：独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部内 全国ユース環境ネットワーク事務局

3. 実施内容

(1) 全国ユース環境活動発表大会（地方大会）の実施

全国8地区で環境活動を行っている高校生等を対象に環境活動の事例を募集し、選考を経た上で、自らの活動を発表する地方大会を実施する。同大会において、優れた活動発表を行った者に対しては、地方大会優秀賞等の授与を行う。

また、受賞者の中から特に優れたものは審査委員による選考を経た上で、全国ユース環境活動発表大会に出場する。

※8地区は、北海道地方、東北地方、関東地方、中部地方、近畿地方、中国地方、四国地方、九州地方（沖縄含む）とする。各日程、開催地は以下の通り。

北海道地方大会	令和元年11月10日(日)	北海道札幌市
東北地方大会	令和元年11月17日(日)	宮城県仙台市
関東地方大会	令和元年12月15日(日)	東京都区内
中部地方大会	令和元年12月8日(日)	愛知県名古屋市
近畿地方大会	令和元年12月15日(日)	大阪府大阪市
中国地方大会	令和元年11月17日(日)	広島県広島市
四国地方大会	令和元年12月22日(日)	香川県高松市
九州・沖縄地方大会	令和元年12月8日(日)	福岡県福岡市

(2) 全国ユース環境活動発表大会（全国大会）の実施

全国8地区の地方大会から審査委員による選考等を経た高校生等が一堂に会し、自らの実践を発表する全国大会を、令和2年2月に東京都で実施する。同大会において、優れた者に対しては、環境大臣賞等の授与を行う。

4. 応募資格

- (1) 高校生等による環境活動を応募の対象とする。
 - ※全国の高等学校、高等専門学校（高等学年）、中等教育学校（4～6年生）の部活動、委員会、有志団体など。
 - ※高校等を通じての応募とする。
- (2) 1つの高校等から複数団体、1つの団体から複数テーマの応募も可とする。
- (3) 環境活動の実践者が高校生等であれば、学校以外の環境活動団体や地域団体などからの応募も可とする。
- (4) 全国大会・地方大会とも出場の際は、必ず教員・団体職員・保護者等の引率が必要。

5. 応募内容

- (1) 地球温暖化対策、低炭素、生物多様性の保全、自然共生、資源循環など「環境」に関わる活動であって「持続可能な開発目標（SDGs）」の目標達成にも資する活動とする。
- (2) 授業での課題研究なども応募可とする。
- (3) 過去の受賞歴・未発表・既発表は問わない。
 - ※ただし、今年度、前年度に、いずれかのコンクールにおいて「環境大臣賞」を受賞した同一の活動は不可とする。

6. 応募方法

- (1) 応募方法
 - ① 応募希望校は、令和元年9月に全国の学校に送付する環境情報誌「全国ユース環境ネットワーク VOL.9」、及び同時期に事務局ホームページで公開する募集要項を元に、事務局へメール送付またはFAXで資料を請求する。
 - ② 資料請求のあった学校に対し、事務局より実施要領、応募書類などを送付する。
 - ③ 応募書類は、募集要項の公開から応募締切までの期間に、事務局へメール送付または、事務局ホームページより提出すること。
 - ④ 事務局連絡先：独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金内
全国ユース環境ネットワーク事務局
TEL:044-520-9505
FAX:044-520-2192
Email:youth@erca.go.jp
HP: <https://www.erca.go.jp/jfge/youth/index.html>

※なお、提出された書類は返却不可とする。

- (2) 応募締切
令和元年10月15日（火）必着。

7. 全国大会・地方大会の審査方法

- (1) 全国大会・地方大会それぞれに外部有識者等による審査委員会を設置し、委員による審査を実施する。

8. 審査基準

環境活動の内容について、以下の観点から総合的に評価。

- ・ **自主性** 高校生が自主的・主体的に企画・実践したものであるか。
- ・ **着眼点** 社会課題の解決が起点になっているか。
- ・ **協働** 多様な人と協力・協調して解決しようとするアプローチがあるか。
- ・ **改善度** これまでの成果や失敗を本年度の改善に繋げているか。
- ・ **発信力** 活動の内容や成果を他者に分かりやすく伝えているか。

9. 表彰等

(1) 発表大会当日、優れた活動発表を行った団体に対し、以下の表彰を行う。

①全国ユース環境活動発表大会（地方大会）

- 地方大会最優秀賞 : 各地方環境事務所長
- 特別賞（高校生選考賞） : 各地方環境事務所長
- 特別賞（先生選考賞） : 各地方環境事務所長
- 協賛企業特別賞 : 独立行政法人環境再生保全機構理事長
- 優秀賞 : 独立行政法人環境再生保全機構理事長

②全国ユース環境活動発表大会（全国大会）

- 環境大臣賞 : 環境大臣
- 環境再生保全機構理事長賞、優秀賞 : 独立行政法人環境再生保全機構理事長
- 国連大学サステナビリティ高等研究所 : 国連大学サステナビリティ高等研究所
所長賞 所長
- 読売新聞社賞 : 読売新聞代表取締役社長
- 特別賞（高校生選考賞） : 環境省総合環境政策統括官
- 特別賞（先生選考賞） : 環境省総合環境政策統括官
- 優秀賞 : 独立行政法人環境再生保全機構理事長